

# 認知症が疑われる場合の医療機関へのかかり方

かかりつけ医（身近なお医者さん）があなたのことを一番知っています。



かかりつけ医



認知症疾患センター（柳井医療センター内）  
認知症疾患の鑑別診断、専門医療相談

かかりつけ医は、病気の治療をするだけでなく、確定診断や症状の変化などで専門病院や専門医を受診する必要がある場合には、適切な医療機関を紹介し、連携を取ります。

## なぜ医師の診断が必要なの？

認知症の症状がみられる場合でも、その原因やタイプによって、その後の生活の注意点や治療方法も変わってきますので、その見極めのために医師の鑑別診断が大切です。何かの病気が原因で認知症の症状がみられるのであれば、その病気の治療が必要となります。

## かかりつけ医がいません。「何科」に行けばいい？



一般的には神経内科、精神科、心療内科、脳神経外科、あるいは「もの忘れ外来」というような専門外来で見てもらえます。

## 医師にどんなことを伝えたらいいの？

限られた受診時間内に伝えたいことを、もらさずに伝えることはなかなか難しいことです。いつ頃からどのような変化や症状が出てきたのか、家で困っていることなど詳しくメモして持って行きましょう。ご本人の前で言いにくいことは、あらかじめメモを受付に渡しておくといでしょう。

## メモのポイント

- いつ頃からどのような変化や症状が出てきたのか。
- 現在の心配な症状・困りごと。  
例：薬の管理ができなくなった。時間や場所の感覚が不確かになった。等
- 既往歴・生活習慣（食欲・睡眠の状況等）



## 病院に行きたがらない、どうしたらいいの？

もの忘れのひどい高齢者は、みんな「自分が以前と違う」「何かおかしい」と気づいています。そして、これからどうなってしまうのか、不安でいっぱいなのです。だから、上から目線で「もの忘れがひどい」と言われたら、それに対抗するために「ボケてない」と言い張るしかありません。家族が、このようなご本人の気持ちを分かった上で、「馬鹿にしているのではない。心配している。」「このまま病気が進めば家族が大変になる。」と、こころを込めて説明し、根気よく受診をすすめてください。

それでも難しかったら・・・

「最近健診を受けてないから、元気であるために診てもらおう。」

「私が調子が悪いから、一緒に付き合っ・・・。」

まず、家族が医療機関に相談して、事前に打ち合わせをしておきましょう。

